

研究課題名	進行肝癌に対するatezolizumab bevacizumab治療の効果予測因子の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 消化器科
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎 雅之
研究期間	(西暦) 実施許可日～2033年6月30日
研究の意義・目的	進行性原発性肝がんに対するatezolizumab bevacizumab治療は現在肝細胞癌薬物療法の第一選択となっておりますが、その効果の予測は困難です。そこで、血液検査から得られるデータでその効果・安全性を予測するマーカーを明らかにすることを目的として本研究が行われています。本研究は北海道大学病院が主研究施設となって行われている多施設共同研究です。
研究の方法 (対象期間含む)	武蔵野赤十字病院消化器科にて2020年10月1日から本研究実施許可日までの期間に、進行性原発性肝がんに対するatezolizumab bevacizumab治療が行われた年齢20歳以上の方を対象となります。この研究は、肝細胞癌の患者さんの治療を行っている機関で実施します。カルテ情報・診療の中で得られた検体の残余検体を、治療効果の解析のために北海道大学病院に郵送または電子的配信(検体は冷凍郵送)で送付します。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①本研究で取り扱う患者さんの個人情報(診断名、年齢、性別、身体所見、身長、体重、BMI、飲酒歴、合併症、前治療歴、検査結果(血液検査、画像検査、尿生化学検査)、糖代謝マーカー、線維化マーカー、併用薬、併用療法などを診療録から抽出し、匿名化して用います。 ②診療録上の患者情報、腫瘍組織・血清・血漿の残余検体を用います。これらは通常の診療の中で採取されたものであり、本研究において追加で患者さんから検体を採取することはありません。また、研究発表などの際にも患者さん個人が特定できる情報が報告されることはありません。 ③武蔵野赤十字病院消化器科部長 黒崎 雅之、消化器科 安井 豊 ④管理責任者：武蔵野赤十字病院消化器科 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 安井 豊  TEL：0422-32-3111(代表) 6812(事務局内線) FAX：0422-32-3525